

臨床研究等の第一人者です。桶口輝彦先生は、東京大学医学部卒業後、昭和大学藤が丘病院精神科教授等を経て、國立精神・神經医療研究センター総長・理事長を歴任されました。うつ病などの気分障害の薬理・生化学です。

今月は、9月3日に開催した講演会の模様をお送りします。今回は、今年4月に当院に着任された医師の桶口輝彦先生に講演いただきました。

今求められる 「こころの健康」

この知りたいこと

医師 桶口 輝彦

2016年度第一回
病院家族教室・講演会

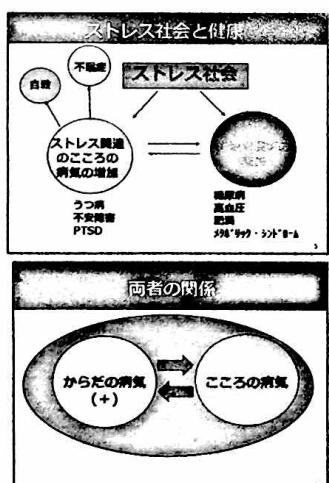
鶴が丘だより

こんなには。私は大学を卒業後、非常勤として当院で前院長の永田寅男先生より指導を受けて育てられました。この春に國立精神・神經医療研究センターを退職し、皆様のお役に立てればと思ひ、当院に着任しました。

今日は、いま、求められるこころの健康と題してお話しします。基本的な知識はご存知かと思いますので、まずは壮年期や更年期と呼ばれる40代の病気と考えられてお話しします。うつ病は、前半はおさらいとして、後半では高齢者のうつ病についてお話しします。

昔は壮年期や更年期と呼ばれる40代の病気と考えられていましたが、近年は様々な世代でみられるようになりますし、糖尿病の方のうつ病罹患率が高まりことも知られています。

生活習慣病もストレスによって影響されることがあります。特に、現代社会はストレス社会です。ストレス社会では、糖尿病患者が高まりことも知られています。



健康を考える上で、ここの問題が重要であることがあります。からだの病気も悪くなってしまうことがあります。特別な病気

☆「こころとからだの健康

休みの日は、大体サッカー観戦。それできました。からだの健康が保たれていても、ここが弱ります。それでも、この1日の移動距離は5km! 1万歩を超える年間チケットを持っています。これからも、よろしくお願い致します!



三浦主任(管理)



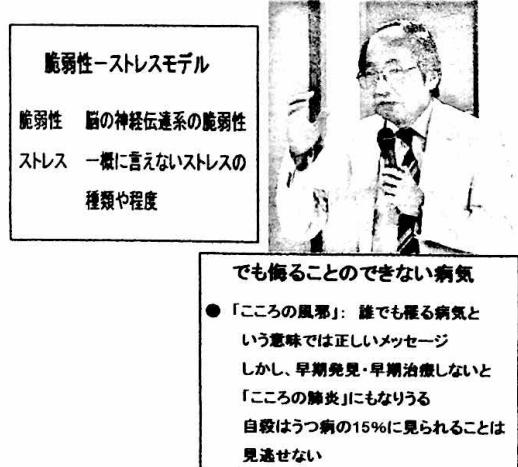
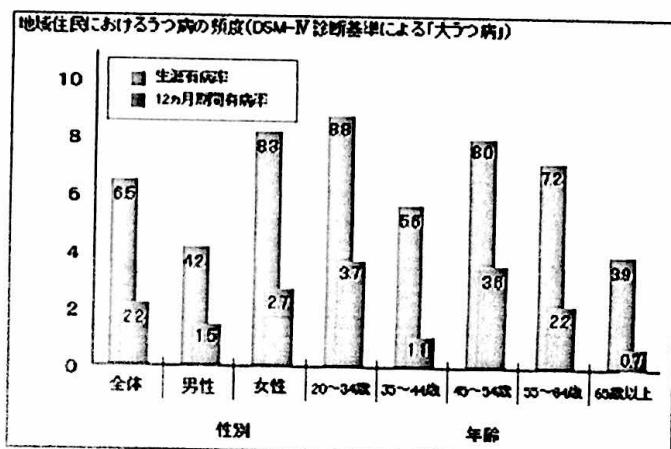
糖尿病の方の治療をする場合、糖尿病の治療は良好であると糖尿病のコントロールが難しくなることがあります。うつ病を併発するが、うつ病も約2割がうつ病を伴ります。脳卒中でもうつ病を伴ります。うつ病が併発し、リハビリがうまくいかなくなります。

うつ病と認知症の関係

以前は、全く異なる病気と言われていました。しかし最近では、ある共通病態があることが分かってきました。ストレスを浴びると、ストレスモモンは、正常だと、これが脳状態の上上がり悪くなります。うつ病を生みます。これが脳内病気です。可知情ます。うつ病です。

うつ病の方も約2割がうつ病を伴ります。脳卒中でもうつ病を伴ります。うつ病が併発し、リハビリがうまくいかなくなります。

☆うつ病を知る



放場合に上へては自殺のリスクのある病気です。さらに世界中にたくさんのがおり、研究も盛んにされていますが、原因の解明には至っていません。現段階では、脆弱性ストレスモデルが提唱されています。脳の神経伝達系に何らかの脆さがあり、そこにストレスが加わり、うつ病を発症するといわれています。つまり、ストレスは引き金になりますが、ストレスだけではありません。これが問題となります。うつ病を引き金にします。

医療法人社団 鶴永会

鶴が丘ガーデンホスピタル

TEL. 044-988-3121

東京都町田市三輪緑山2-2133-1

長津田いこいの森診療所

TEL. 045-507-7656

神奈川県横浜市緑区長津田4-11-14

ご本人様やご家族のご住所・お電話番号等が変更になりました。お問い合わせください。

おねがい！

あせらず
あきらめず
あてにせず

手本はいつでも
目の前に

いろはカルタ

今月の：